

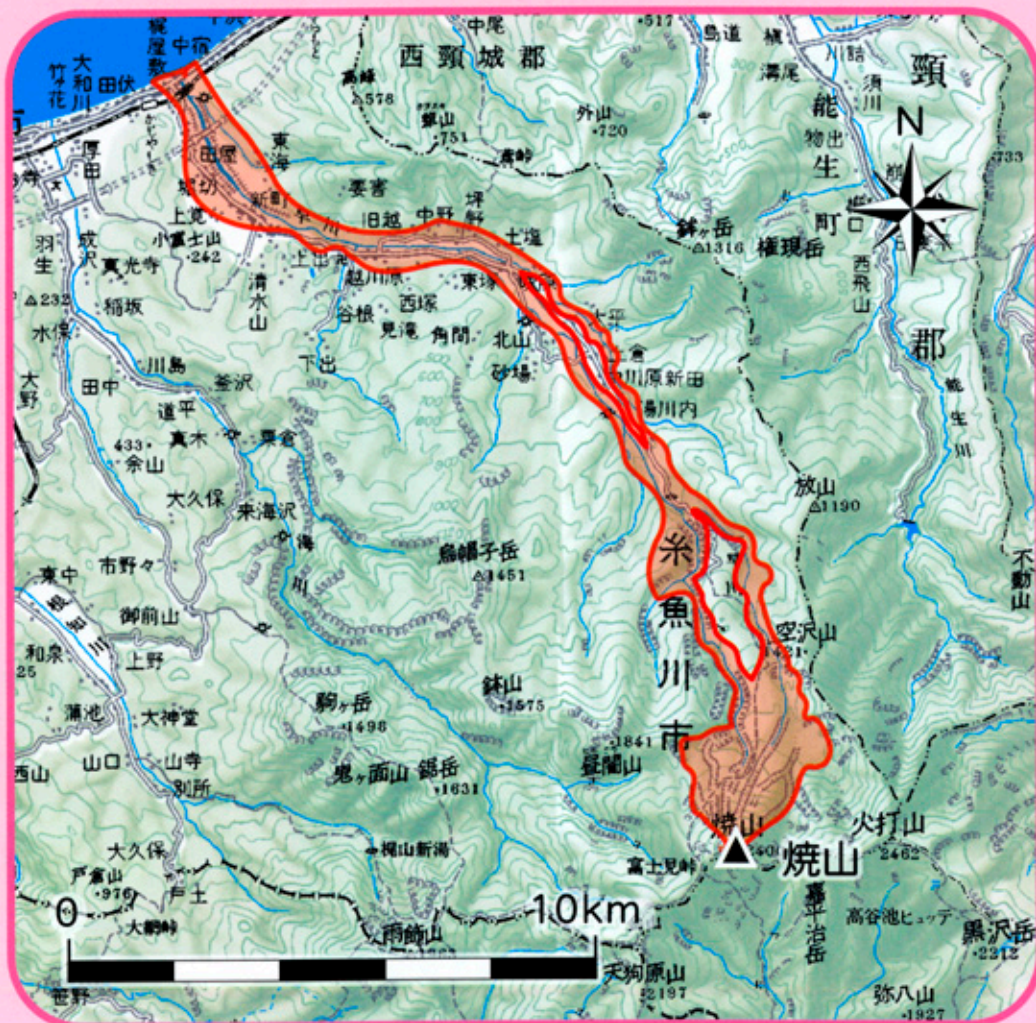
大規模噴火

発生する現象の種類は中規模噴火と同じですが、規模がより大きく、遠くまで到達します。

新潟焼山では、日本海に達するほどの大きな火砕流が二度も発生しています。大規模な火砕流は、989年（早川火砕流）と1361年（大谷火砕流Ⅰ）に発生しています。

下の図は、1361年に発生した大谷火砕流Ⅰの流れた範囲を示したものです。

なお、989年に発生した早川火砕流もほぼ同じ所を流れました。以前お配りした「新潟焼山火山防災の心得(平成13年)」では、早川火砕流の流下した範囲を示したものです。



1361年の噴火で発生した
大谷火砕流Ⅰの範囲